

5 概 況

下水道事業会計の業務実績を見ると、当年度の処理区域内人口が 26,137 人で、行政区内の普及率（下水道普及率）は 51.2%となっている。また有収率は 70.3%で前年度比 8.6 ポイントの減となっている。

詳細については、「6 業務実績について」に記述している (P21～22)。

経営成績を見ると、当年度純利益は 205,927,771 円で前年度と比較して 93,377,023 円 (83.0%) の増となった。この主な要因は、他会計負担金や下水道使用料の増による営業収益の増や、資産減耗費の減による営業費用の減、他会計補助金の増による営業外収益の増によるものである。

詳細については、「7 経営成績について」に記述している (P23～25)。

当年度の財政状況を見ると、資産は有形固定資産の機械及び装置等の増により、前年度と比較して 153,358,257 円 (0.6%) の増となっている。また、負債は未払金の減等により、前年度と比較して 115,571,514 円 (0.5%) の減となっており、資本は純利益の計上や他会計からの出資等により、前年度と比較して 268,929,771 円 (13.1%) の増となっている。

詳細については、「8 財政状況について」に記述している (P26～30)。

下水道使用料の収入状況を見ると、現年度分の収入率は 89.5%、繰越分の収入率は 93.4%となっている。

詳細については、「9 収入状況について」に記述している (P31)。